

令和5年度（2023年度）渡島管内教育実践表彰

渡島教育局では、広く教育に関し、優れた実践活動により学校教育又は社会教育の向上に大きく貢献し、その功績が極めて顕著な団体又は個人を表彰し、管内教育の充実振興を図ることを目的に、昭和42年度から毎年「渡島管内教育実践表彰」を実施しています。

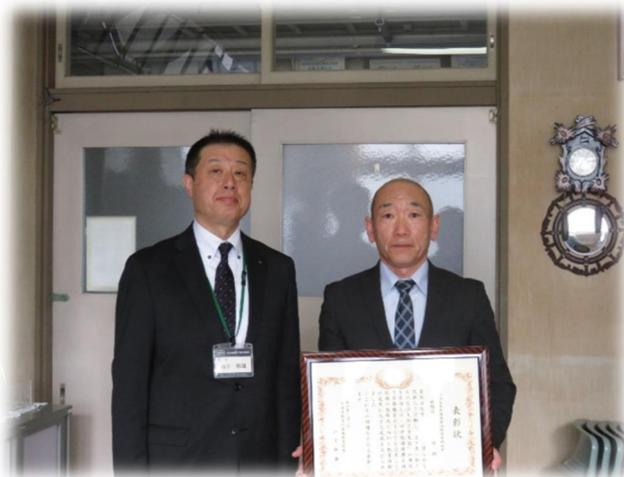
今年度は、学校教育関係から6つ、社会教育関係から1つ、計7の学校、団体及び個人を受賞者として決定し、授与式を実施しました。



【北斗市立萩野小学校】



【七飯町立七重小学校】



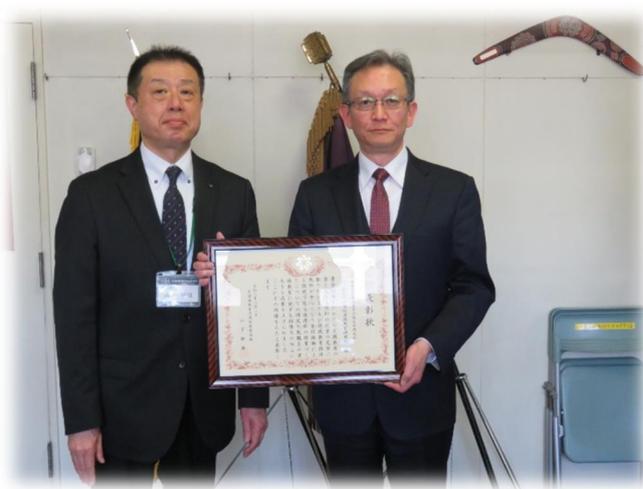
【函館市立本通中学校】



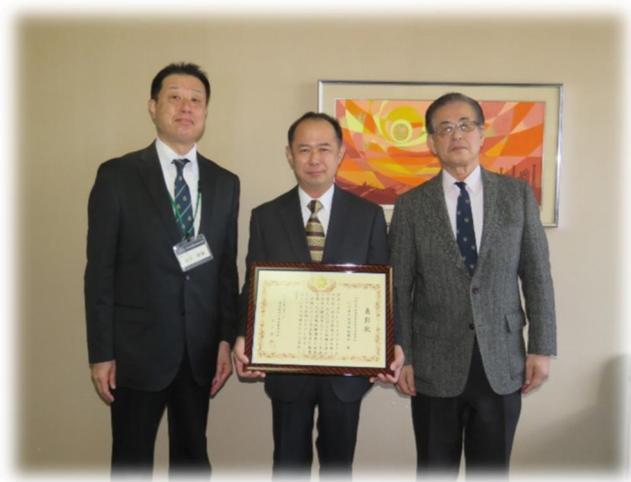
【函館市立桔梗小学校
名本 恒二 主幹教諭】



【函館市小学校道徳教育研究会】
（事務局：函館市立東山小学校）



【函館市中学校道徳教育研究会】
（事務局：函館市立亀田中学校）



【北斗市文化団体協議会】

北斗市立萩野小学校

校長 西 館 純

学級数 8学級 児童数 115名 教員数 13名

地域の特色を生かしたふるさと学習の推進

永年にわたり、学校教育目標「かしこい子 やさしい子 つよい子」の実現を目指し、1人1台端末を効果的に活用するなど、子どもが学ぶ喜びを実感できる教育活動に取り組んでいる。

特に、子どもが地域の人々と協働できる教育環境の充実を図り、生活科・総合的な学習の時間において、探究課題を解決することを通して、ふるさとのおよさに気づき、ふるさとに対する誇りを育む体験活動を行い、その成果を管内の各学校へ普及・啓発するなど、管内の教育活動の改善・充実に大きな成果を上げている。

また、各教科と関連を構造化した「教育活動相関表」を作成し、教科等横断的な学びの実現に向けた授業改善に取り組むなど、その成果は高く評価されている。

七飯町立七重小学校

校長 金 澤 力

学級数 20学級 児童数 467名 教員数 29名

小小連携を図った学校力向上に向けた取組の推進

永年にわたり、学校教育目標「深く考える子ども 明るく思いやりのある子ども 丈夫でたくましい子ども」の実現を目指し、子どもを主語にした持続可能な教育活動に取り組んでいる。

特に、「学校力向上に関する総合実践事業」の中核校として、高学年における教科担任制を実施し、小小連携を図るとともに、教育活動の「見える化」を推進するなど、開かれた教育課程の実現に向けた取組を行い、その成果を管内の各学校へ普及・啓発するなど、管内の教育活動の改善・充実に大きな成果を上げている。

また、地域学習「夢のある町 七飯町プロジェクト」に取り組み、中学校区で目指す15歳を共有した小中連携を進めるなど、その成果は高く評価されている。

函館市立本通中学校

校長 仲井靖典

学級数 20 学級 生徒数 554 名 教員数 37 名

小学校と連携した学校力向上に向けた取組の推進

永年にわたり、学校教育目標「清らかな気持ちで活動し、より良い私たちの生活をめざす生徒」の実現を目指し、生徒一人一人が自ら学び、自己表現を高める教育活動に取り組んでいる。

特に、「学校力向上に関する総合実践事業」の中核校として、小・中学校間連携を図り、加配事務職員やICTを効果的に活用するなど、校務の効率化に向けた取組を行い、その成果を管内の各学校へ普及・啓発するなど、管内の教育活動の改善・充実に大きな成果を上げている。

また、「授業改善推進チーム活用事業」指定校として、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に取り組み、実践成果を市内の学校に広く普及するなど、その成果は高く評価されている。

函館市立桔梗小学校 名本恒二 主幹教諭

ICT教育の充実に貢献

永年にわたり、教職員の中核として、積極的にICTを活用し、業務の負担軽減や効率化に向けた取組を行うなど、学校改善の推進に尽力してきた。

特に、情報教育においては、高い専門性と優れた実践力を発揮し、プログラミング教育事業の研究を通して、児童の情報モラルやICT機器の基本的な操作技能の定着を図るとともに、プログラミング的思考の育成に向けた授業改善に取り組むなど、情報教育の充実に、多大な貢献をしている。

また、ICTを活用した教育環境の充実に図るとともに、デジタル教科書を効果的に活用した授業改善など、教職員の資質向上に向けた取組は、高く評価されている。

函館市小学校道德教育研究会
函館市立東山小学校長 永井 貴之
団体会員数 38名

児童の心を育む道德教育の推進

永年にわたり、全教育活動を通じて行う道德教育を着実に推進するとともに、道德教育の要となる道德科の授業の充実に取り組んでいる。

特に、令和5年度は、第59回全国小学校道德教育研究大会函館大会において、児童一人一人のよさを認め励ます評価や、ICTの効果的な活用を通して、児童の道德的実践意欲を高める研究を進め、その成果を全国の各学校へ普及・啓発するなど、全国の道德教育の改善・充実に大きな成果を上げている。

また、函館市中学校道德教育研究会と連携し、指導計画や指導方法等について研鑽を重ね、継続的な授業改善を図るなど、その成果は高く評価されている。

函館市中学校道德教育研究会
函館市立亀田中学校長 吉田 敬三
団体会員数 40名

生徒の心を育む道德教育の推進

永年にわたり、全教育活動を通じて行う道德教育を着実に推進するとともに、道德教育の要となる道德科の授業の充実に取り組んでいる。

特に、令和5年度は、第57回全日本中学校道德教育研究大会函館大会において、道德教育推進教師が中心となり全校体制による持続可能な道德科の授業づくりについて研究を進め、その成果を全国の各学校へ普及・啓発するなど、全国の道德教育の改善・充実に大きな成果を上げている。

また、「教育課程実践検証利協力校事業」指定校として、ローテーション道德や、ICTを効果的に活用した道德科の授業の振り返りを位置付けた実践など、その成果は高く評価されている。

北斗市文化団体協議会（北斗市）

代 表 脇 坂 新 市

会員数 580 名

地域に根ざした芸術文化の振興発展に貢献

永年にわたり、教育普及活動の充実を図り、子どもたちの芸術に対する感性や郷土の歴史・文化に対する理解を深化させ、芸術文化活動を楽しめる環境づくりに取り組んでいる。

特に、北斗市の小学生・中学生を対象とした文化活動体験講座「子どもチャレンジ講座」においては、加盟する団体から講師を派遣し、茶道やフラワーアレンジメントなどの体験活動を提供することで、地域住民の学びを活かした社会教育の振興に大きな成果を上げている。

また、「北斗の杜コンサート」をはじめとする様々な芸術文化事業を主催し、成果発表や鑑賞機会を提供するなど、芸術文化活動の推進に大きく貢献していることは、高く評価されている。